

【観光遺産産業化ファンド】

「株式会社 SANU Kawaguchiko1st」に対する投資実行について

～サブスクリプションサービスによって、国立公園の新たな利活用スタイルを創出～

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、11月15日付で株式会社 SANU Kawaguchiko1st（以下「当社」という。）への投資を実行するとともに、当社に対して取締役を派遣しましたことをご知らせいたします。

なお、今回の投資は、本ファンドの第8号案件となります。

当社は、富士箱根伊豆国立公園の利活用において、自然の中で生活を営む「もう一つの家」をサブスクリプションサービスとして提供することで、ただの観光客ではなく、繰り返し地域へ通う人を創っていき、レストランやアクティビティの利用や雇用創出につなげ、地域経済の活性化を図っていきます。

スタートアップ企業による国立公園を活用するプロジェクトを支援することで、ファンドの目的でもある国立公園の利活用促進を加速させるモデルケースとなることを見込んでおります。

また、今後も地域活性化モデルを各地に展開するために、地域金融機関等に対してファンドで得た知見やノウハウの移転を図るとともに、あわせて観光関連産業の活性化においても機構の専門人材を活用したノウハウ移転を通じた支援を行ってまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社 SANU Kawaguchiko1st
所在地	東京都台東区
代表者	代表取締役 福島 弦 ((株)Sanu 代表取締役 CEO)
事業内容	不動産開発・管理・賃貸

【運営事業者となる(株)Sanu 概要】

Live with nature. / 自然と共に生きる。

SANU は、人と自然が共生する社会の実現を目指すライフスタイルブランドです。「Nui. HOSTEL & BAR LOUNGE」や「CITAN」、「K5」をプロデュース・運営してきた本間貴裕と、McKinsey & Company を経て、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の運営に参画した経験を持つ福島弦の2人を中心に、ミッションに共感するメンバーとともにブランドをゼロから作り上げています。

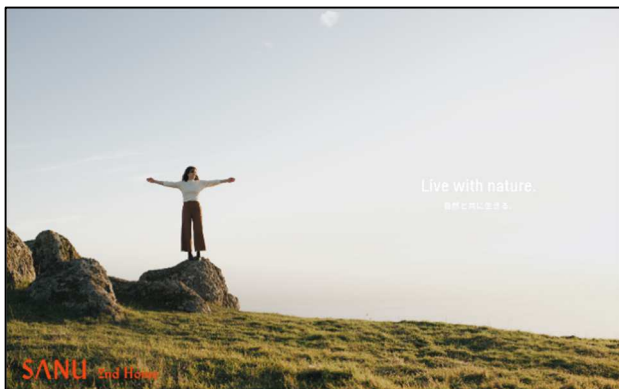
代表者: 福島弦 / 所在地: 東京都台東区蔵前

会社ページ: <https://sa-nu.com/>

【参考資料】

SANU 2nd Home は、「自然の中で生活を営むためのもう一つの家」を提供するサブスクリプションサービスです。都市をベースに繰り返し自然の中に通う生活様式をより多くの方々に届けるため、物件の賃貸や購入ではなく、定額料金で日本国内の様々な拠点に滞在できるようにしています。(現在、7 拠点(50 棟)を進行中で、他拠点についても計画中)

スマートフォンでサブスク会員登録を行うだけで、都心から片道 2 時間程度の好アクセスな立地にある各拠点を、日本の美しい海、山、湖から目的や気分にあわせて自由に選んで滞在でき、都市と自然を日常的に行き来する”未来の生活様式”を実現します。



SANU は、人が自然と調和し、楽しく健康的にこの地球で暮らし続けるために必要なことを、新しい生活様式の提案を通じて人々に発信していきます。



国産木材 100%のサーキュラー建築。建築現場の自然環境に配慮した基礎杭工法・プレキャスト工法による施工で、解体すれば元の環境に戻せるほか、接着剤や釘の利用を最小化することで解体後の資材も再利用できます。

収益の一部で、キャビンの建設で活用した木材を 100%代替する植林活動を実施し、カーボンネガティブ※を実現します。
※一連の活動やプロジェクト全体で CO2 の排出量よりも吸収する CO2 の量が多いこと。カーボンニュートラルよりも CO2 排出削減に貢献している状態といえる。

写真は、他地域において竣工したキャビン。(キャビンは全て同様の設計)

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

＜お問い合わせ先・ご相談の連絡先＞

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310 地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590